

TRAIL

いわき市の経済・景気の動き

経済・景気動向調査報告「トレイル」
第83号 2023年12月20日発行

いわき市産業振興部

【全国】10か月振りに判断引き下げ！ 先行きに金融引き締めや中国の経済の不透明感！

【いわき市】“回復基調”をkarouじて維持！ 今後、物価高、人手不足等で停滞の恐れも！

【経済・景気四方記事】 地域生活圏の“地方運営法人”は生まれるか！“等6件

■ 全国動向 <Q=四半期 ▲=マイナス>

●「GDP」(23年第IIIQ. 1次速報値*。11/15)の実質値は▲0.5%*1と3Q振りにマイナス成長となった。個人消費が2Q連続マイナスのほか、自動車販売の減少、設備投資の2期連続マイナスなど内需の落ち込みによる。輸出も力強さを欠いた。

*2次速報値(11/8)は▲0.7%(年率▲2.9%)に下方修正。

●「月例経済報告(11月)」(11/22)の基調判断では、“一部に足踏みもみられる”と、10か月振りに景気判断を引き下げた。設備投資が“持ち直しに足踏み”に引き下げたのが大きい。先行きは、世界的な金融引締め、中国経済の先行き懸念等による下押しリスクをあげている。

区分	前期	今期
GDP(実質) (年率換算)	1.1 (4.5)	▲0.5 (▲2.1)
主要部門別	個人消費	▲0.0
	民間住宅 設備投資	▲0.2 ▲0.6
	政府消費	0.0
	公共投資	▲0.5
	輸出入	3.9 ▲3.8
輸 入	0.5	1.0

(前期: 確報値, 今期: 速報値)

基調判断	一部に足踏み
個人消費	持ち直している
設備投資	持ち直しに足踏み
住宅投資	弱含んでいる
輸 出	持ち直しの動き
輸 入	概ね横ばい
生 産	持ち直しの兆し
企業収益	総じて改善
雇用情勢	改善の動き
海外経済	景気不振リスク
先行き判断	緩やかな回復

目 次

全国動向: 10か月振りに判断引き下げ！ 先行きに金融引き締めや中国の経済の不透明感！
いわき市の動向: “回復基調”をkarouじて維持！ 今後、物価高、人手不足等で停滞の恐れも！
経済・景気四方記事: 地域生活圏の“地方運営法人”は生まれるか！“等6件

I 経済・景気調査: 2023年第II四半期(4~6月)

1. 経済の動き (主要部門別・主要経済データ) 3
2. 景気の動き (景気動向指数) 9

【参考】- 景気動向指数の内容 - 国・県の動き

II 景気ウォッチャー調査: 2023年11月時点 15

■ いわき市の動向 <▲=マイナス>

今期は、前期からの回復基調をkarouじて維持している。「景気ウォッチャー調査」(11月)では、“現状DI”のほか“先行きDI”までも、マイナスが多い、プラスのものも伸びが少ない。今後は、全国が景気判断を引き下げていることもあり、物価高、人材不足、将来不安等の悪影響等で停滞する恐れが十分予想される。

● 経済・景気調査 <掲載表にない言及は原表参照>

【需要動向】新築住宅、公共工事を除き、大型店販売額、建築確認申請(前期の約5倍)、観光需要等が増加。全体として回復が持続している。

【企業動向】中小企業融資残高、信用保証承諾額は減少だが、絶

対額では法人市民税調定額を含めそこそこの水準。企業倒産件数は2件(前期5件)、倒産負債額は1.7億円(前期28.7億円)と前期より減少。総じて前期水準を維持している。

【雇用動向】新規求人倍率と有効求人倍率はともに微増。雇用保険受給者数は減少。総じてひっ迫した状況にはない。

● 景気ウォッチャー調査(23年11月時点)

全業種の“現状DI”は▲3.8ポイント、“先行きDI”も▲1.4ポイント、

はともに低下。プラスのものも伸びは小さい。“自由意見”(本調査詳細に記載)でも、人手不足、原料費高等の要因のほか、人口減少、パイ(規模)の制約等の経済構造に及ぶ意見も出ている。

(産業チャレンジ課)

いわき市の動向(7-9月期)

区分	前期%	今期%	
需要動向	個人自動車登録	1.6	5.4
	新設住宅	25.8	12.9
	建築公共工事	▲32.0	▲2.06
	観光需要	9.7	▲45.1
企業動向	生卸売市場取扱	12.9	15.7
	輸入通関実績	13.3	8.1
	法人市民税	▲16.9	▲15.8
雇用	企業倒産件数	▲17.8	17.9
	新規求人倍率	5件	2件
	有効求人倍率	1.91倍	2.12倍
		1.13倍	1.26倍

注: 雇用は9月。前年同期比。

景気ウォッチャー調査抜粋('23/11)

区分	現状判断DI		先行判断DI	
	今回	前回差	今回	前回差
全業種	50.7	▲3.8	50.4	▲1.4
家計	55.7	▲5.5	54.2	▲1.9
小売	51.2	▲10.2	51.2	▲9.0
飲食	75.0	0.0	68.8	12.5
サービス	58.8	▲2.9	57.4	9.1
住宅	50.0	▲3.1	45.8	▲13.6
企業	35.0	0.0	38.3	1.6
雇用	50.0	0.0	50.0	▲3.6

■ 経済・景気四方山記事

(原情報の要約・意識や筆者の解釈・所感を含む)

● 地域生活圏の“地方運営法人”は生まれるか！

「第3次国土形成計画」(7月閣議決定)では、地方の生活機能を守るほぼ10万人規模の“地域生活圏”の形成を打ち出し、ここにおける住民生活を支える推進主体として民主導の“地方運営法人”(ローカルマネジメント主体)を掲げている。ドイツの“シュタットベルケ(公共事業を総合的に提供する公益事業体)”を参考にしたものだが、日本では、電気、水道、交通等の事業が別々に運営されており、統合する難しさが想定される。数例の先進事例が紹介されているが【解説】、それぞれの去就が注目される。(9/7 日経新聞“地域の風”)

● マイナンバーカード(MNC)保有率の差！

全国平均のMNCの県別保有率は71.1%(23/8末。総務省)。トップは宮崎県で80.6%、最下位は沖縄県59.4%(福島県は27位で72.4%)。市別では兵庫県養父市の90.8%がトップ(いわき市は72.1%)。このような差は、行政サービス体制の手厚さにある。普及浸透を進める自治体が多い地方が上位を占め、人口が多くきめ細かい対応ができない都市部では下位が多い。個人情報保護に対する誤解、今でも起こる入力ミス等の不具合事例等からMNCに対する反発があるが、今後のデジタル社会でより利便性の高い個人生活を確保するためにも更なる普及が望まれる(9/18 日経新聞)

● “電力データ”で社会課題を解決！

“電力データ”の利用が10月に解禁された。電力の使用状況から、CO₂排出量の可視化や節電の推進ほか、高齢者の異変の探知など脱酸素や社会課題の解決につなげることができる。今後、この“電力データ”の利用で新事業が生まれる可能性は高く、すでに数社の民間企業が進出している。本市においても、とくに社会課題解決が絡む事業の起業化が期待される。(10/14 日経新聞)

● 大都市と地方とで移住者獲得競争！

横浜市、札幌市、神戸市、京都市、広島市の人口が前年を下回り(23年1/1時点。総務省「人口動態調査」)、これらの都市で“移住・定住応援団の創設”、“移住イベントの開催”、“移住サイトの開設”、“補助金制度の創設”等で移住者獲得に本

腰を入れ始めた人口減が先行している地方ではすでに各種の移住促進策を推進しているが、都市部の参戦で、地方はなお一層知恵を絞った施策を充実させる必要がある。(10/16 日経新聞)

● 官民連携実現のための担当者の“心得”！

「東北活性研」(10月号)で、官民連携の担当者向けの対処法が紹介された。先ず連携を阻む13の「壁*」があげられ、次いでそれぞれの「壁」を突破するための「心得」が解説されている。例えば、①のアイディケーションの「壁」を突破するには、1)偶然性を愛する、2)個の経験やつながりを豊かに、3)起きたことを意味づける、4)連携の手法を工夫する、5)どんなたたき台でも意味がある、6)潜在的なニーズを発掘する観察力が必要、7)自分たちがやりたいことをやる、8)相談できる人を周りにつくる、9)インプットの工夫を、10)2枚目の名刺を持つなど。このように形で13の「壁」に対する「心得」は100を数える。このように具体的かつ効果的な内容なので、現場で悩んでいる担当者に一読を薦めたい。

* ①アイデアが見つからない、②前例主義、③説明ができない、④若手が育たない、⑤上司が話を聞いてくれない、⑥実行主体、⑦マッチング、⑧公平性(エコひきが困難)、⑨予算、⑩合意形成、⑪意思決定、⑫仕事の進めが違う、⑬目立つと打たれる、⑭人事異動。

(“官民連携による社会課題解決に向けた取り組み” 経産省東北経産局。「東北活性研」(公財)東北活性化センター)

● 【いわき市発】歩行者利便増進の社会実験！

11/3~11/19、市及び県は、「(仮称)R399社会実験いわき駅前公園化計画」の一環として、駅前通り(国道399号)で、歩行者利便増進道路(ほこみち)制度”の活用社会実験を実施した。歩行者中心の道路空間の構築でエリア価値の向上を目指すのが目的。期間中、いわき駅前大通りの歩道上で、飲食店の出店やたき火を囲む会などのイベントが行われた。今後も、上記利用者へのアンケート調査等を踏まえ、道路空間の有効な活用方法を模索していく。(11/29 いわき市産業チャレンジ課)

【解説】“地方運営法人”をあげられた先進事例

①共助型スマートシティ：大手や地元の企業業90社で設けた協議機関 AiCT コンソーシアム(福島県会津若松市)、②暮らしの交通：AIを活用したデマンド交通(香川県三豊市)、③宮古版シュタットベルケ：太陽光発電による地域交通の維持(岩手県宮古市)。

東日本国際大学名誉教授 大川信行

I 経済・景気調査：令和5年第Ⅲ四半期（7～9月）

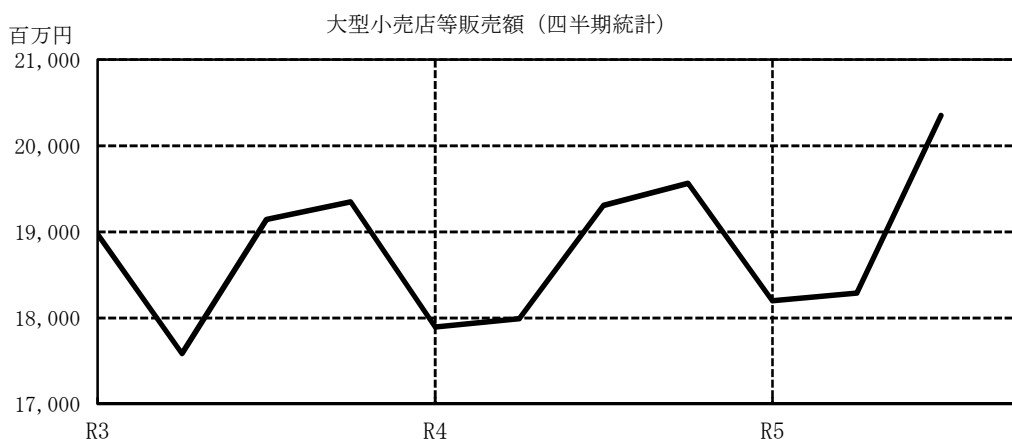
1 いわき市の経済の動き

（1） 主要部門の動向（令和5年第Ⅲ四半期（7～9月）の状況）

① 需要動向

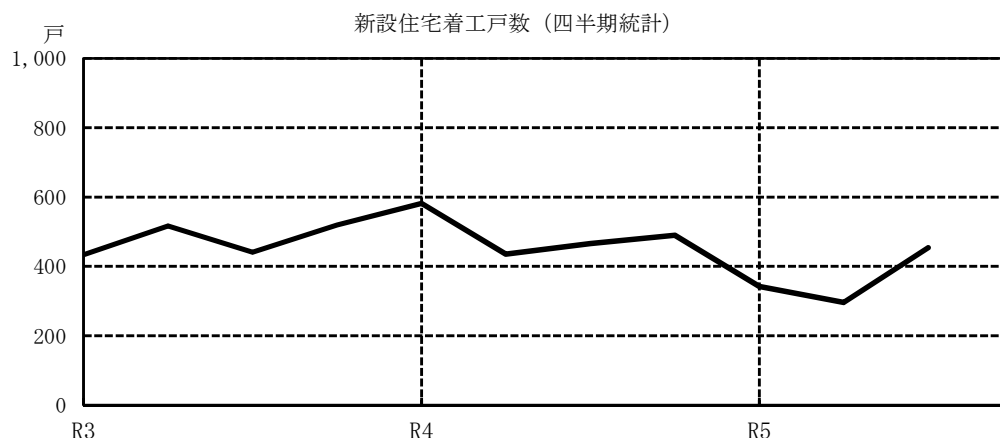
【個人消費】 ○ 第Ⅲ四半期（7～9月）の大型小売店等販売額は約204億円（前年同期比5.4%の増加）となり、6四半期連続で前年の水準を上回った。

○ 自動車新規登録台数は4,114台（前年同期比12.9%の増加）となり、5四半期連続で前年の水準を上回った。



【建設需要】 ○ 新設住宅着工戸数は454戸（前年同期比2.6%の減少）となり、4四半期連続で前年の水準を下回った。

○ 公共工事等受注額は約73億円（前年同期比45.1%の減少）となり、2四半期振りに前年の水準を下回った。



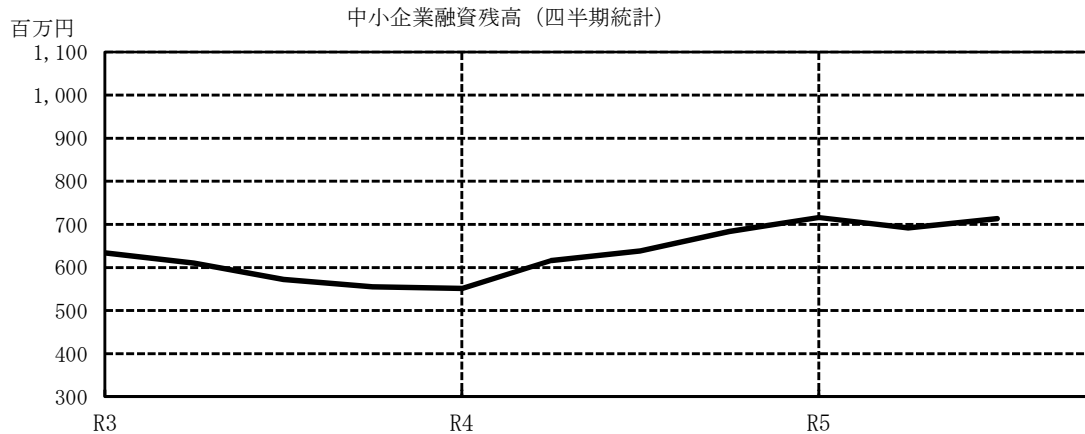
【観光需要】 ○ 観光施設利用者指数は、110.1（前年同期比15.7%の上昇）となり、7四半期連続で前年の水準を上回った。

② 企業動向

Ⅲ期（7～9月） ○ 第Ⅲ四半期（7～9月）のいわき市中央卸売市場取扱高は約40億円（前年同期比8.1%の増加）となり、8四半期連続で前年の水準を上回った。

【企業活動】 ○ いわき市中小企業融資残高は約7.1億円（前年同期比11.8%の増加）となり、6四半期連続で前年の水準を上回った。

○ 負債1千万円以上の企業倒産件数は2件（前年同期と同数）となった。

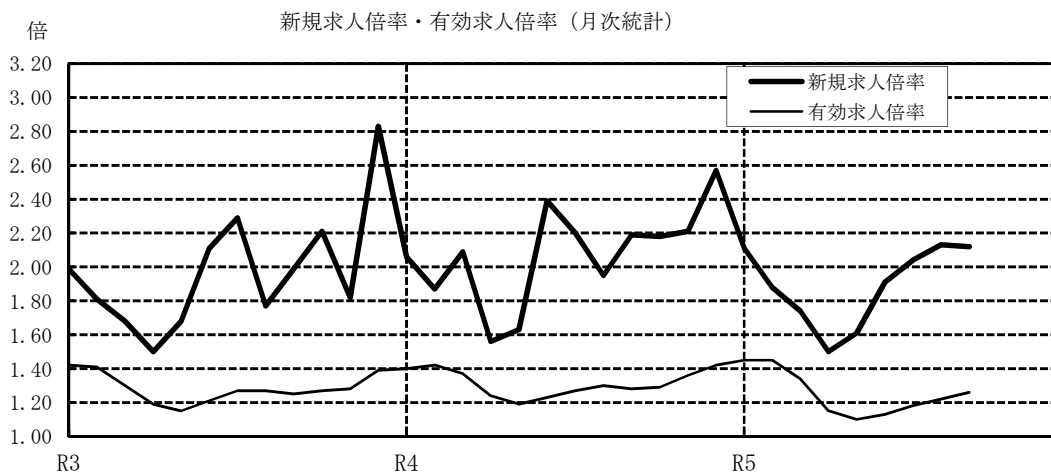


③ 雇用情勢

【雇 用】 ○ 9月の新規求人倍率は2.12倍（前年同月より0.07ポイントの低下）となり、2ヵ月振りに前年の水準を下回った。

○ 9月の有効求人倍率は1.26倍（前年同月より0.02ポイントの低下）となり、7ヵ月連続で前年の水準を下回った。

○ 第Ⅲ四半期（7～9月）の雇用保険受給者実人員は3,796人（前年同期比2.3%の減少(=改善)）となり、2四半期振りに前年の水準を下回った(改善した)。



(2) 主要経済データ

区分	需要動向														
	個人消費				建設需要						観光需要				
	大型小売店等販売額	前年同期比	自動車新規登録台数	前年同期比	新設住宅着工戸数	前年同期比	建築確認申請受付件数	前年同期比	公共工事等受注額	前年同期比	観光施設利用者指数	(H24・四半期平均=100)	前年同期比	入湯税調定人員	前年同期比
(百万円)	(%)	(台)	(%)	(戸)	(%)	(件)	(%)	(百万円)	(%)		(%)	(人)	(%)		
【年次統計】															
平成30年	77,103	-3.4	20,332	-1.7	2,417	-29.9	1,292	-11.9	23,677	-44.7	395	-0.8	678,555	-2.5	
令和元年	74,924	-2.8	21,098	3.8	1,646	-31.9	1,084	-16.1	45,162	90.7	367	-6.9	640,323	-5.6	
令和2年	76,999	2.8	18,105	-14.2	2,001	21.6	995	-8.2	47,501	5.2	195	-47.0	359,932	-43.8	
令和3年	75,051	-2.5	16,318	-9.9	1,911	-4.5	1,077	8.2	87,871	85.0	177	-9.2	301,384	-16.3	
令和4年	74,755	-0.4	15,143	-7.2	1,973	3.2	1,176	9.2	34,321	-60.9	271	53.1	407,735	35.3	
【四半期統計】															
令和3年 IV	19,347	-2.1	3,435	-24.4	519	12.1	255	2.8	15,028	-7.7	61.6	-1.6	107,458	-4.0	
令和4年 I	17,893	-5.7	4,595	-17.1	582	34.1	239	-14.3	10,527	-80.2	43.4	38.3	88,479	54.0	
II	17,992	2.3	3,128	-16.5	435	-15.9	294	7.7	5,685	-9.1	62.6	71.1	86,525	71.3	
III	19,308	0.9	3,643	1.3	466	5.7	314	16.3	13,321	0.1	95.1	100.8	122,725	42.8	
IV	19,562	1.1	3,777	10.0	490	-5.6	329	29.0	4,788	-68.1	69.8	13.3	110,006	2.4	
令和5年 I	18,198	1.7	5,098	10.9	342	-41.2	241	0.8	3,413	-67.6	61.7	42.0	142,714	61.3	
II	18,288	1.6	3,935	25.8	296	-32.0	674	129.3	6,235	9.7	70.7	12.9	122,181	41.2	
III	20,353	5.4	4,114	12.9	454	-2.6	1,881	499.0	7,307	-45.1	110.1	15.7	139,990	14.1	
【月次統計】															
令和3年10月	6,108	-1.8	1,009	-38.2	186	6.9	88	1.1	10,798	158.9	17.8	-11.7	33,000	-6.9	
11月	5,855	-2.5	1,342	-15.5	119	-22.7	87	8.7	1,029	-49.5	21.6	-8.3	34,851	-7.5	
12月	7,384	-2.1	1,084	-17.9	214	58.5	80	-1.2	3,201	-68.2	22.2	17.4	39,607	2.0	
令和4年1月	5,976	-7.6	1,302	-12.9	323	289.2	72	-7.7	1,722	-32.2	16.3	89.9	39,607	107.8	
2月	5,594	-7.2	1,378	-20.9	125	-43.2	68	-24.4	2,650	-93.2	9.3	9.9	32,721	122.7	
3月	6,323	-2.4	1,915	-16.9	134	2.3	99	-10.8	6,156	-48.3	17.8	24.1	16,151	-31.9	
4月	5,930	3.3	1,047	-17.9	224	28.0	111	32.1	1,695	-2.5	16.8	49.6	27,481	68.8	
5月	6,116	1.1	968	-18.4	68	-58.8	63	-26.7	159	-89.5	26.4	102.9	28,930	71.3	
6月	5,946	2.6	1,113	-13.2	143	-19.2	120	16.5	3,831	27.4	19.4	57.0	30,114	73.6	
7月	6,518	2.0	1,218	-9.8	188	27.9	81	-10.0	4,614	-7.5	26.0	23.5	31,467	12.8	
8月	6,737	0.7	994	-8.1	100	-35.1	117	46.3	4,158	46.2	43.8	162.9	37,199	12.4	
9月	6,053	-0.2	1,431	22.9	178	27.1	116	16.0	4,549	-17.0	25.3	162.4	54,059	116.7	
10月	6,273	2.7	1,209	19.8	147	-21.0	116	31.8	2,580	-76.1	25.1	40.5	44,320	34.3	
11月	6,171	5.4	1,394	3.9	120	0.8	116	33.3	1,171	13.8	21.8	0.7	43,306	24.3	
12月	7,118	-3.6	1,174	8.3	223	4.2	97	21.3	1,037	-67.6	23.0	3.5	22,380	-43.5	
令和5年1月	6,134	2.6	1,442	10.8	89	-72.4	82	13.9	216	-87.5	19.0	16.4	58,444	47.6	
2月	5,639	0.8	1,548	12.3	98	-21.6	91	33.8	684	-74.2	17.2	83.9	35,888	9.7	
3月	6,425	1.6	2,108	10.1	155	15.7	68	-31.3	2,513	-59.2	25.5	43.5	48,382	199.6	
4月	6,058	2.2	1,292	23.4	87	-61.2	102	-8.1	1,234	-27.2	20.1	20.3	45,605	66.0	
5月	6,235	1.9	1,234	27.5	66	-2.9	215	241.3	491	209.5	29.2	10.4	37,374	29.2	
6月	5,995	0.8	1,409	26.6	143	0.0	357	197.5	4,510	17.7	21.3	10.0	39,202	30.2	
7月	6,809	4.5	1,315	8.0	123	-34.6	503	521.0	2,775	-39.9	29.7	14.3	36,886	17.2	
8月	7,148	6.1	1,176	18.3	119	19.0	636	443.6	1,479	-64.4	54.8	25.0	40,640	9.3	
9月	6,396	5.7	1,623	13.4	212	19.1	742	539.7	3,053	-32.9	25.6	1.2	62,464	15.5	
出典:	いわき市産業 チャレンジ課		いわき自動車検査登 録事務所、全国軽自 動車協会連合会いわ き支所		県土木部		市建築指導課		いわき市建設業協 同組合、(社)福島 県建設業協会いわ き支部		いわき市産業 チャレンジ課(市内 主要観光施設 の利用者数を 指数化)		いわき市民 税課		

(注) ーは「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。
 四半期統計において I は1～3月、II は4～6月、III は7月～9月、IV は10～12月を示す。

区 分	企業動向													
	生産活動				企業活動									
	いわき市 中央卸売 市場取扱 高	前年 同期比	小名浜港 輸入通関 実績	前年 同期比	いわき 市中小 企業融 資残高		いわき 市中小 企業融 資利率		信用保 証承諾 額		信用保 証協会 代位弁 済		法人市 民税調 定額	
					(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(%)	(%p)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
年 月	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(%)	(%p)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
【年次統計】														
平成30年	13,933	-0.9	378,337	18.3	1,155	-4.3	2.04	0.1	18,640	18.1	602	21.6	5,111	10.9
令和元年	12,898	-7.4	345,294	-8.7	1,009	-12.7	2.05	0.0	21,136	13.4	964	60.1	4,101	-19.8
令和2年	13,550	5.1	321,606	-6.9	781	-22.5	2.13	0.1	67,962	221.6	560	-41.9	4,199	2.4
令和3年	13,930	2.8	355,137	10.4	593	-24.1	2.06	-0.1	37,047	-45.5	220	-60.7	3,312	-21.1
令和4年	14,883	6.8	624,189	75.8	622	5.0	1.77	-0.3	21,406	-42.2	738	234.8	3,577	8.0
【四半期統計】														
令和3年 IV	4,221	4.1	101,305	34.7	555	-13.4	2.20	0.00	5,224	-58.9	46	-26.1	836	-23.9
令和4年 I	3,149	5.0	102,907	48.6	551	-13.0	2.02	-0.08	6,536	-65.1	265	134.3	459	17.1
II	3,302	0.4	160,831	106.5	616	0.9	1.33	-0.85	3,471	-50.6	50	168.7	1,199	-2.0
III	3,711	8.4	166,716	56.2	639	11.6	2.03	0.21	5,912	-2.3	242	473.0	726	-15.7
令和5年 IV	4,720	11.8	193,735	91.2	684	23.1	1.78	-0.43	5,488	5.0	180	289.1	1,193	42.8
I	3,446	9.4	152,954	48.6	716	29.9	1.99	-0.03	8,506	30.1	223	-15.8	502	9.3
II	3,740	13.3	133,582	-16.9	692	12.3	1.21	-0.12	4,815	38.7	117	132.1	985	-17.8
III	4,011	8.1	140,384	-15.8	714	11.8	1.99	-0.04	6,906	16.8	255	5.2	857	17.9
【月次統計】														
令和3年10月	1,141	0.0	42,892	31.3	540	-18.1	-	-	1,290	-69.8	0	-100.0	78	-29.8
11月	1,202	18.9	26,434	3.3	566	-11.6	2.20	-	1,538	-57.8	5	-58.5	703	-23.2
12月	1,877	-1.3	31,979	88.5	560	-10.1	2.20	0.00	2,396	-50.0	41	16.5	55	-24.2
令和4年1月	1,025	8.8	37,863	89.0	552	-12.6	1.95	-0.25	1,212	-47.6	45	-19.5	111	32.4
2月	975	0.1	27,215	14.1	542	-15.4	-	-	1,614	-67.7	206	-	132	8.4
3月	1,149	6.0	37,829	49.1	559	-11.0	2.09	0.19	3,709	-67.6	13	-76.0	216	15.9
4月	1,141	0.7	54,696	111.8	580	-6.7	1.20	-1.00	927	-74.0	0	-	114	3.5
5月	1,093	-1.0	51,007	106.6	630	3.0	1.68	-0.52	1,245	-3.4	38	-	283	-3.6
6月	1,068	1.7	55,128	101.3	639	6.8	1.10	-1.05	1,298	-40.3	12	-34.3	802	-2.2
7月	1,275	1.3	46,274	61.0	632	9.2	2.12	-0.08	1,702	-16.5	102	665.6	342	-18.9
8月	1,278	13.3	60,189	78.8	628	7.6	2.20	0.65	1,411	-0.7	4	-37.7	295	-13.2
9月	1,158	11.9	60,253	36.0	655	18.5	1.77	0.07	2,800	8.0	136	513.1	89	-10.6
10月	1,256	10.1	67,536	57.5	683	26.4	1.70	-	1,420	10.1	141	-	113	43.8
11月	1,280	6.5	56,208	112.6	673	19.0	2.20	0.00	1,496	-2.7	7	33.3	993	41.3
12月	2,184	16.4	69,991	118.9	694	24.1	1.43	-0.78	2,572	7.3	33	-20.8	87	59.5
令和5年1月	1,089	6.3	50,374	33.0	700	26.8	2.00	0.05	1,529	26.1	2	-95.6	91	-17.7
2月	1,072	9.9	45,458	67.0	733	35.2	2.20	-	2,294	42.1	90	-56.5	125	-5.4
3月	1,284	11.8	57,122	51.0	715	27.8	1.76	-0.33	4,682	26.2	132	895.8	285	32.3
4月	1,217	6.7	38,877	-28.9	701	21.0	1.03	-0.18	1,116	20.4	1	-	151	32.6
5月	1,260	15.3	47,170	-7.5	694	10.2	1.55	-0.13	1,655	32.9	116	205.3	304	7.5
6月	1,264	18.3	47,535	-13.8	681	6.5	1.05	-0.05	2,044	57.4	0	-100.0	530	-33.9
7月	1,375	7.8	42,781	-7.5	679	7.4	2.10	-0.02	2,799	64.4	215	110.1	400	16.8
8月	1,334	4.4	42,704	-29.1	703	11.8	1.95	-0.25	2,343	66.1	33	678.3	370	25.6
9月	1,302	12.4	54,899	-8.9	760	15.9	1.92	0.15	1,764	-37.0	7	-94.8	86	-3.2
出典：	いわき市中央卸売市場（水産）	横浜税関	いわき市産業チャンジ課（年次統計は12カ月の平均値、四半期統計は3カ月の平均値） ”-”は実績なし。実績ない月は平均値算出から除く。				福島県信用保証協会				いわき市市民税課（法人税割）			

(注) -は「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。
四半期統計においてIは1～3月、IIは4～6月、IIIは7月～9月、IVは10～12月を示す。

区 分	企業動向									
	倒産				中小企業DI調査					
	企業倒産件数		企業倒産負債総額		製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	総合(全業種)
	前年同期比	前年同期比	前年同期比	前年同期比						
年月	(件)	(%)	(百万円)	(%)						
【年次統計】										
平成30年	15	66.7	9,581	317.5	-	-	-	-	-	-
令和元年	14	-6.7	1,669	-82.6	-	-	-	-	-	-
令和2年	14	0.0	1,186	-28.9	-	-	-	-	-	-
令和3年	10	-28.6	1,375	15.9	-	-	-	-	-	-
令和4年	13	30.0	1,714	24.7	-	-	-	-	-	-
【四半期統計】										
令和3年 IV	4	33.3	467	147.1	-	-	-	-	-	-
令和4年 I	4	100.0	578	191.9	-	-	-	-	-	-
II	1	-50.0	477	189.1	-	-	-	-	-	-
III	2	0.0	137	-74.9	-	-	-	-	-	-
IV	6	50.0	522	11.8	-	-	-	-	-	-
令和5年 I	3	-25.0	95	-83.6	-	-	-	-	-	-
II	5	400.0	2,871	501.9	-	-	-	-	-	-
III	2	0.0	165	20.4	-	-	-	-	-	-
【月次統計】										
令和3年10月	2	100.0	116	28.9	-	-	-	-	-	-
11月	2	0.0	351	254.5	-	-	-	-	-	-
12月	0	-	0	-	3.0	-22.2	-20.0	-33.3	-30.0	-12.7
令和4年1月	2	100.0	365	94.1	-	-	-	-	-	-
2月	0	-100.0	0	-100.0	-	-	-	-	-	-
3月	2	-	213	-	-7.4	-30.8	-25.0	-33.3	-50.0	-23.8
4月	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-
5月	0	-100.0	0	-100.0	-	-	-	-	-	-
6月	1	-	477	-	0.0	-44.0	-25.0	-50.0	22.2	-12.5
7月	1	0.0	127	-51.2	-	-	-	-	-	-
8月	1	-	10	-	-	-	-	-	-	-
9月	0	-100.0	0	-100.0	-21.9	-25.0	9.1	-11.1	25.0	-12.5
10月	3	50.0	220	89.7	-	-	-	-	-	-
11月	2	0.0	292	-16.8	-	-	-	-	-	-
12月	1	-	10	-	-22.6	-42.9	-7.7	-42.9	12.5	-19.7
令和5年1月	0	-100.0	0	-	-	-	-	-	-	-
2月	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-
3月	3	50.0	95	-55.4	-30.0	-40.0	-22.2	-25.0	0.0	-25.3
4月	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-
5月	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-
6月	5	400.0	2,871	501.9	-14.2	-10.0	-18.2	-70.0	-11.1	-22.1
7月	1	0.0	15	-88.2	-	-	-	-	-	-
8月	1	0.0	150	1,400.0	-	-	-	-	-	-
9月	0	-	0	-	-23.4	-37.5	-27.3	-50.0	-12.5	-28.3
出典：	東京商工リサーチ（負債総額1,000万円以上）				福島県産業振興センター（前年同月比で「良化」-「悪化」社数構成比（各月末時点） 平成17年4月以降3ヵ月毎に調査					

(注) -は「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。
四半期統計においてIは1～3月、IIは4～6月、IIIは7月～9月、IVは10～12月を示す。

区 分	雇用						その他						
	新規 求人 倍率		有効 求人 倍率		雇用保 険受給 者実人 員		高速道 路出入 交通量		いわき市景気ウォッチャー調査(先行きD I)				
	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	家計動向	企業動向	雇用関連	総合		
年月	(倍)	(%p)	(倍)	(%p)	(人)	(%)	(千台)	(%)					
【年次統計】													
平成30年	2.21	0.09	1.62	0.03	13,079	-7.1	10,170	-16.1	-	-	-	-	-
令和元年	2.14	-0.07	1.57	-0.05	13,479	3.1	9,319	-8.4	-	-	-	-	-
令和2年	1.91	-0.23	1.33	-0.24	15,827	17.4	7,760	-16.7	-	-	-	-	-
令和3年	1.99	0.08	1.29	-0.04	14,808	-6.4	7,427	-4.3	-	-	-	-	-
令和4年	2.02	0.03	1.31	0.03	14,068	-5.0	7,855	5.8	-	-	-	-	-
【四半期統計】													
令和3年 IV	-	-	-	-	3,513	-9.2	2,033	-1.7	-	-	-	-	-
令和4年 I	-	-	-	-	3,248	-7.0	1,747	-3.0	-	-	-	-	-
II	-	-	-	-	3,484	-8.1	1,955	9.4	-	-	-	-	-
III	-	-	-	-	3,885	-3.1	2,087	15.6	-	-	-	-	-
IV	-	-	-	-	3,451	-1.8	2,066	1.6	-	-	-	-	-
令和5年 I	-	-	-	-	3,220	-0.9	1,936	10.8	-	-	-	-	-
II	-	-	-	-	3,513	0.8	2,018	3.2	-	-	-	-	-
III	-	-	-	-	3,796	-2.3	2,218	6.2	-	-	-	-	-
【月次統計】													
令和3年10月	2.21	0.21	1.27	-0.01	1,215	-12.5	657	-6.7	-	-	-	-	-
11月	1.82	-0.36	1.28	-0.07	1,137	-9.4	681	-2.6	55.8	45.0	54.2	53.4	-
12月	2.83	0.09	1.39	-0.07	1,161	-5.2	695	4.6	-	-	-	-	-
令和4年1月	2.06	0.07	1.40	-0.02	1,089	-10.4	596	7.5	-	-	-	-	-
2月	1.87	0.06	1.42	0.01	1,027	-9.2	502	-9.9	52.3	41.7	54.2	50.3	-
3月	2.09	0.41	1.37	0.07	1,132	-1.3	649	-5.9	-	-	-	-	-
4月	1.56	0.06	1.24	0.05	1,109	-10.9	647	6.1	-	-	-	-	-
5月	1.63	-0.05	1.19	0.04	1,084	-9.4	667	16.3	52.5	56.3	58.3	53.8	-
6月	2.39	0.28	1.23	0.02	1,291	-4.4	641	6.3	-	-	-	-	-
7月	2.20	-0.09	1.27	0.00	1,256	-7.4	689	3.8	-	-	-	-	-
8月	1.95	0.18	1.30	0.03	1,369	-0.4	727	25.5	47.8	45.5	45.8	47.2	-
9月	2.19	0.20	1.28	0.03	1,260	-1.6	671	19.3	-	-	-	-	-
10月	2.18	-0.03	1.29	0.02	1,198	-1.4	705	7.4	-	-	-	-	-
11月	2.21	0.39	1.36	0.08	1,140	0.3	679	-0.3	46.0	33.9	54.2	44.1	-
12月	2.57	-0.26	1.42	0.03	1,113	-4.1	681	-2.0	-	-	-	-	-
令和5年1月	2.11	0.05	1.45	0.05	1,093	0.4	625	4.9	-	-	-	-	-
2月	1.88	0.01	1.45	0.03	1,052	2.4	594	18.3	55.0	39.6	55.0	51.8	-
3月	1.74	-0.35	1.34	-0.03	1,075	-5.0	717	10.4	-	-	-	-	-
4月	1.50	-0.06	1.15	-0.09	1,083	-2.3	663	2.5	-	-	-	-	-
5月	1.61	-0.02	1.10	-0.09	1,202	10.9	702	5.4	61.3	45.3	50.0	56.9	-
6月	1.91	-0.48	1.13	-0.10	1,228	-4.9	653	1.7	-	-	-	-	-
7月	2.04	-0.16	1.18	-0.09	1,258	0.2	733	6.4	-	-	-	-	-
8月	2.13	0.18	1.22	-0.08	1,326	-3.1	800	10.1	56.1	36.7	53.6	51.8	-
9月	2.12	-0.07	1.26	-0.02	1,212	-3.8	684	1.9	-	-	-	-	-
出典：	ハロワークいわき（年間倍率は年度ベースの値）						株式会社ネクスコ・トール東北いわき事業部		いわき市産業チャレンジ課(H30.1調査開始)景気ウォッチャー（いわき市民）に景気の先行きを質問。良くなる（1点）、不変（0.5点）、悪く（0点）に回答者構成比を乗じて指数を算出。				

2 いわき市の景気の動き（景気動向指数）（令和5年第三四半期（7～9月）の状況）

（1） C I（コンポジット・インデックス）

① 概要

9月のCIは、先行指数が110.2、一致指数が90.2、遅行指数が91.3となった。

② 指数別の動向（指数は平成27年の水準を100とする）

【先行指数】 9月は110.2ポイントで、6ヵ月振りに低下した。

寄与度がプラスの指標は、新設住宅着工戸数（2ヵ月連続）、建築確認申請受付件数（6ヵ月連続）等の4指標、マイナスの指標は、中小企業DI（全業種）（3ヵ月連続）、新規求人倍率（4ヵ月振り）等の4指標であった。

【一致指数】 9月は90.2ポイントで、4ヵ月振りに低下した。

寄与度がプラスの指標は、いわき市中小企業融資残高（3ヵ月連続）、有効求人倍率（5ヵ月連続）等の4指標、マイナスの指標は、観光施設利用者指数（3ヵ月振り）、公共工事受注額（3ヵ月連続）等の5指標であった。

【遅行指数】 9月は91.3ポイントで、3ヵ月振りに上昇した。

寄与度がプラスの指標は、いわき市中央卸売市場取扱高（3ヵ月振り）、いわき市中小企業融資利率（2ヵ月振り）等の5指標、マイナスの指標は、法人市民税調定額（3ヵ月振り）、鉱工業在庫指数（2ヵ月連続）の2指標であった。

※C Iの変化の大きさは景気の勢い（テンポ）を示す。

③ 指数の推移及び寄与度の内訳（C Iの上昇・下降がどの指標により引き起こされたか）（平成27年=100）

区 分	令和4年			令和5年								
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
先行指数（C・I）	95.3	94.2	94.0	92.5	92.2	90.1	96.1	98.0	106.2	106.6	112.1	110.2
前月差(ポイント)（寄与度合計）	-0.06	-1.12	-0.13	-1.53	-0.3	-2.08	5.96	1.87	8.29	0.41	5.47	-1.96
先行系列寄与度内訳												
1. 自動車新規登録台数	-0.03	0.32	0.60	0.51	0.44	0.26	3.42	-0.62	1.08	-3.08	2.69	-0.07
2. 新設住宅着工戸数	-0.67	-0.11	1.86	-2.71	-0.05	2.06	-2.68	0.43	1.57	-0.69	0.59	1.64
3. 建築確認申請受付件数	1.39	0.37	-1.44	-0.67	0.14	-3.58	3.72	3.80	2.77	4.05	1.49	1.19
4. 鉱工業在庫率指数（逆）	-0.40	-0.01	0.07	-0.28	-1.91	0.92	0.13	-1.87	1.55	-0.61	0.09	1.14
5. 中小企業DI（全業種）	-0.02	-0.02	-1.04	0.00	0.00	-0.78	-0.01	-0.02	0.48	-0.01	-0.01	-4.40
6. 新規求人倍率	-0.53	-0.98	-0.31	1.51	-1.10	-1.05	1.34	-1.33	0.73	0.65	2.21	-1.53
7. いわき市景気ウォッチャー先行き判断DI	-0.01	-0.83	0.01	0.01	2.09	-0.03	-0.03	1.46	-0.04	-0.04	-1.74	-0.04
8. 一致指数トレンド成分	0.21	0.13	0.12	0.10	0.08	0.12	0.08	0.01	0.15	0.14	0.15	0.11
一致指数（C・I）	100.0	97.9	97.6	99.4	99.1	95.9	92.2	89.0	89.5	90.5	91.0	90.2
前月差(ポイント)（寄与度合計）	1.53	-2.10	-0.30	1.80	-0.30	-3.13	-3.75	-3.21	0.54	1.01	0.44	-0.79
一致系列寄与度内訳												
1. 公共工事受注額	-1.81	0.09	-0.95	-0.69	-0.97	-1.79	-0.22	0.22	0.39	-0.97	-1.57	-0.94
2. 観光施設利用者指数	1.85	-1.83	0.68	0.19	-0.25	-0.06	0.08	0.40	-0.63	0.76	0.44	-1.29
3. 大型小売店等販売額	0.67	0.62	-1.81	1.45	-0.45	0.18	0.11	-0.06	-0.25	0.77	0.34	-0.10
4. 鉱工業生産指数	-0.94	0.97	-0.60	0.04	-0.45	-0.20	0.31	-1.36	0.85	-0.15	-0.12	-0.22
5. 鉱工業出荷指数	-0.41	0.42	-0.11	-0.10	-0.75	0.77	-0.17	-1.37	0.72	-0.18	-0.02	0.39
6. 小名浜港輸入通関実績	0.49	0.02	0.71	-0.83	-0.23	0.50	-0.95	0.46	0.12	-0.03	-0.11	0.45
7. いわき市中小企業融資残高	1.78	-1.89	1.44	0.66	1.79	-1.89	-1.79	-1.72	-0.92	0.20	1.06	0.97
8. 有効求人倍率	-0.29	0.04	-0.30	0.75	0.44	-0.67	-1.15	0.07	0.21	0.32	0.47	0.70
9. 高速道路出入交通量	0.19	-0.54	0.64	0.34	0.58	0.03	0.03	0.14	0.03	0.30	-0.06	-0.75
遅行指数（C・I）	89.0	89.0	86.5	89.6	87.2	90.7	88.9	87.7	88.6	88.4	87.9	91.3
前月差(ポイント)（寄与度合計）	2.69	0.06	-2.54	3.09	-2.34	3.44	-1.79	-1.20	0.95	-0.26	-0.53	3.44
遅行系列寄与度内訳												
1. 入湯税調定人員	0.66	-0.29	-2.75	2.65	-2.78	1.45	0.68	-1.26	0.16	-0.37	0.45	0.67
2. いわき市中央卸売市場取扱高	1.17	-0.48	1.85	-1.36	-0.01	0.88	-1.63	1.85	0.72	-1.44	-1.04	2.65
3. 鉱工業在庫指数	-0.08	0.77	-0.22	0.26	1.27	0.20	-0.49	-0.41	-0.15	0.34	-0.05	-0.40
4. いわき市中小企業融資利率	-0.03	-0.25	-1.94	1.92	-0.02	-0.95	0.06	0.37	0.17	0.16	-0.55	1.03
5. 法人市民税調定額	0.86	0.12	0.23	-0.94	-0.16	0.94	-0.02	-0.69	-1.85	1.83	0.49	-0.81
6. 雇用保険受給者実人員（逆）	-0.08	0.07	0.18	0.48	-0.71	0.81	-0.45	-1.07	1.77	-0.90	0.06	0.20
7. 一致指数トレンド成分	0.19	0.12	0.11	0.10	0.08	0.11	0.07	0.01	0.13	0.11	0.12	0.09

注1) C Iはトレンド（長期的趨勢）と、トレンド周りの変化を合成し作成される。

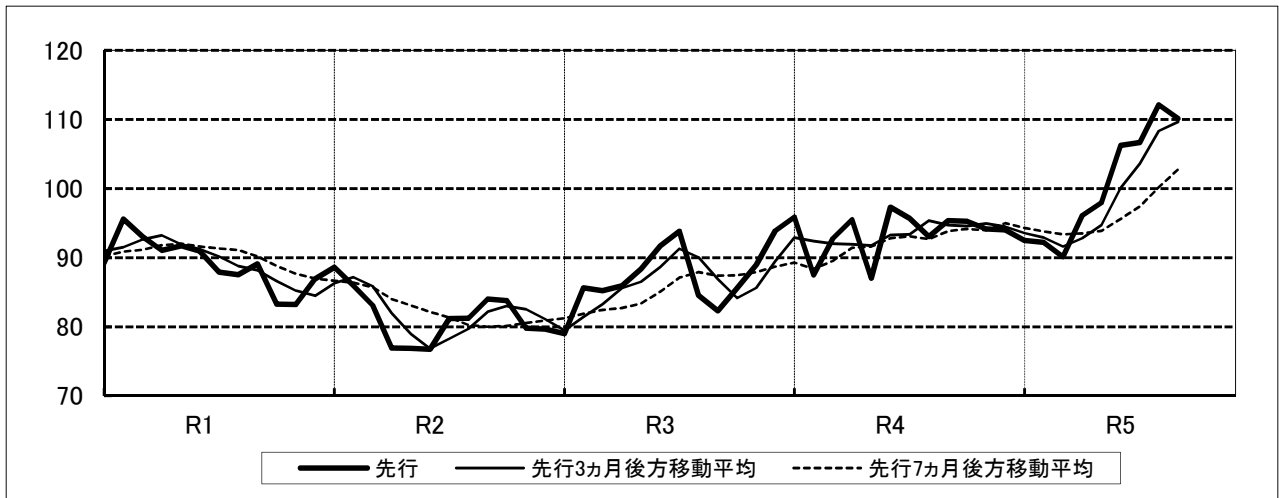
2) 一致指数トレンド成分とは、一致指数の長期的趨勢が先行指数、遅行指数に与えた影響を示す。

3) 寄与度とは、指数の変化にそれぞれの指標がどの程度の影響を与えたかを示す。

④ CIの推移

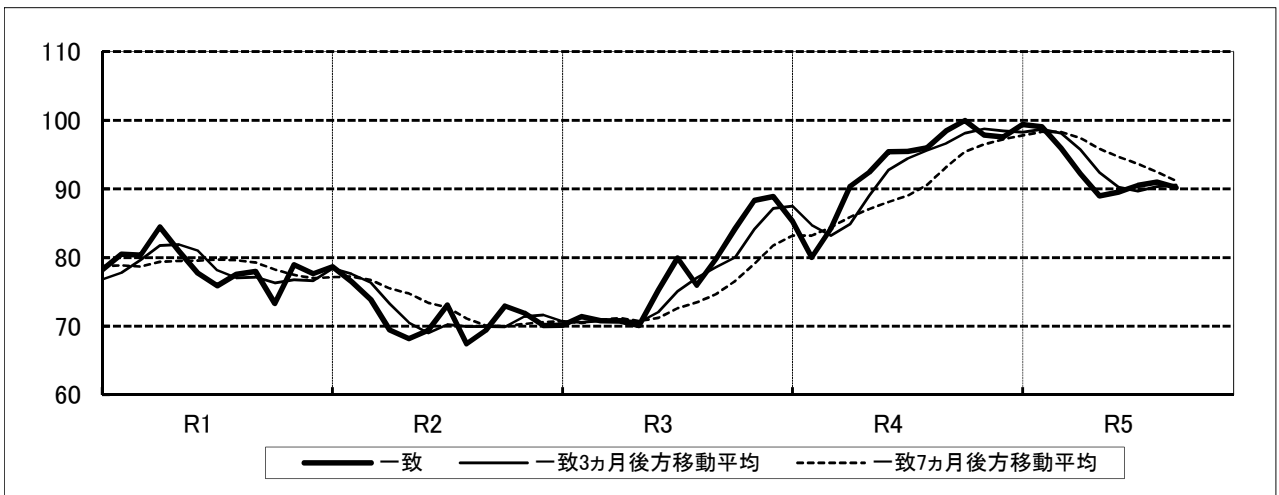
・先行指数の推移

(平成27年=100)



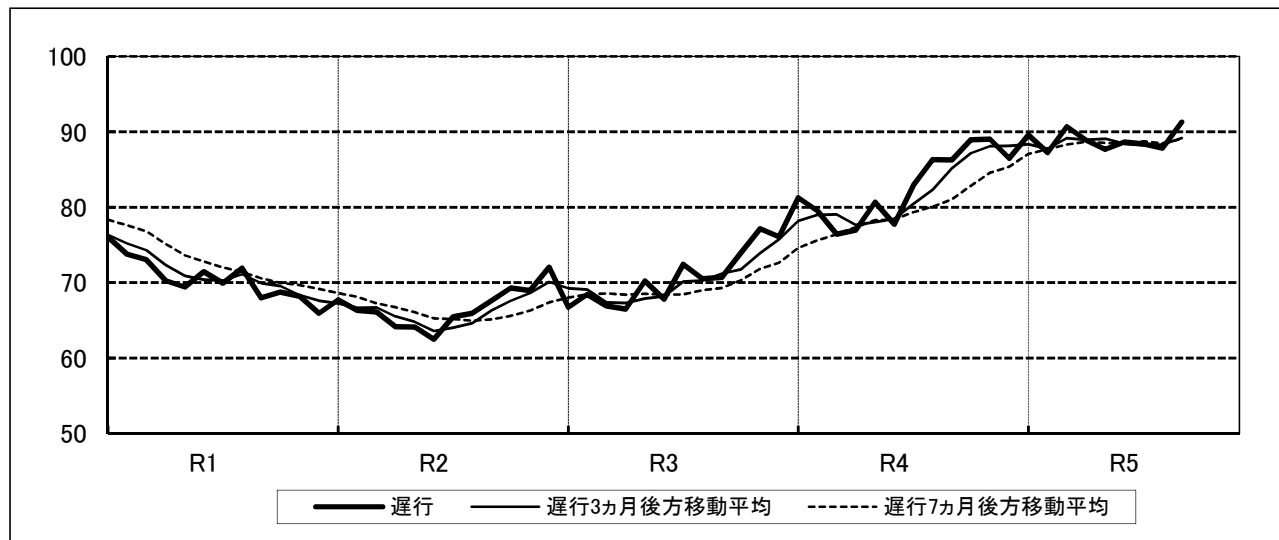
・一致指数の動向

(平成27年=100)



・遅行指数の動向

(平成27年=100)



⑤ CIデータ

・先行指数

(平成27年=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
26	118.1	126.3	124.8	107.5	116.4	110.8	111.6	110.6	110.0	109.7	105.0	109.8
27	109.4	101.0	105.3	99.6	97.1	100.2	99.8	98.7	98.5	98.8	98.6	92.9
28	95.2	89.9	84.4	91.3	90.4	86.1	91.7	87.3	82.8	87.9	87.3	90.5
29	85.8	88.6	89.7	91.7	89.5	96.2	89.6	94.9	96.8	90.9	90.0	95.0
30	94.5	93.1	91.2	92.8	93.3	92.1	91.0	91.2	86.5	89.9	94.0	89.6
1	89.2	95.6	93.1	91.1	91.7	90.9	87.9	87.5	89.1	83.3	83.2	87.0
2	88.6	85.9	83.1	76.9	76.9	76.7	81.2	81.2	84.0	83.8	79.8	79.6
3	79.0	85.6	85.2	85.9	88.4	91.7	93.8	84.5	82.3	85.6	89.0	93.9
4	95.9	87.5	92.8	95.5	87.0	97.3	95.7	93.0	95.3	95.3	94.2	94.0
5	92.5	92.2	90.1	96.1	98.0	106.2	106.6	112.1	110.2			

・一致指数

(平成27年=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
26	106.2	101.3	107.7	99.8	101.4	103.6	104.6	108.3	106.2	106.1	102.0	100.0
27	103.1	101.9	100.8	102.5	101.5	99.8	101.0	101.1	101.0	96.9	95.8	94.6
28	94.1	93.2	87.3	90.1	86.8	90.1	91.0	87.7	90.3	94.5	97.3	98.4
29	96.0	95.9	96.8	95.7	96.6	95.6	91.0	92.3	91.1	88.9	90.7	93.3
30	90.6	90.4	88.0	86.4	86.6	82.2	79.9	81.4	79.8	79.8	77.6	74.7
1	78.2	80.5	80.3	84.5	80.9	77.7	75.9	77.6	78.0	73.3	78.9	77.6
2	78.7	76.5	73.9	69.5	68.2	69.4	73.1	67.4	69.4	72.9	71.9	70.1
3	70.1	71.4	70.8	70.8	70.1	75.3	80.0	76.0	79.8	84.2	88.3	88.9
4	85.3	80.1	84.2	90.4	92.4	95.4	95.4	96.0	98.4	100.0	97.9	97.6
5	99.4	99.1	95.9	92.2	89.0	89.5	90.5	91.0	90.2			

・遅行指数

(平成27年=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
26	100.8	103.1	100.4	102.6	106.9	105.5	102.0	100.7	97.7	98.4	98.6	100.9
27	101.1	100.8	106.3	103.3	102.5	98.9	100.9	98.6	99.2	98.8	95.1	94.5
28	93.7	97.4	93.4	92.3	90.3	88.7	88.5	89.7	87.7	89.4	86.7	85.6
29	88.3	82.1	86.1	83.2	79.4	78.7	78.2	76.0	79.5	77.0	78.9	81.2
30	76.7	76.6	80.6	78.5	83.6	81.8	78.9	78.8	81.9	80.0	77.1	75.8
1	76.1	73.7	73.1	70.3	69.4	71.5	69.9	71.9	68.0	68.8	68.2	65.9
2	67.7	66.3	66.1	64.1	64.1	62.5	65.5	65.9	67.6	69.3	69.0	72.0
3	66.7	68.5	66.9	66.5	70.3	67.8	72.4	70.5	70.7	74.0	77.1	76.1
4	81.3	79.5	76.4	77.0	80.7	77.7	82.9	86.3	86.3	89.0	89.0	86.5
5	89.6	87.2	90.7	88.9	87.7	88.6	88.4	87.9	91.3			

(2) DI (デフレーション・インデックス)

① 概要

【先行指数】 9月は、57.1%と2ヵ月連続で50%を上回った。

【一致指数】 9月は、55.6%と3ヵ月連続で50%を上回った。

【遅行指数】 9月は、66.7%と2ヵ月連続で50%を上回った。

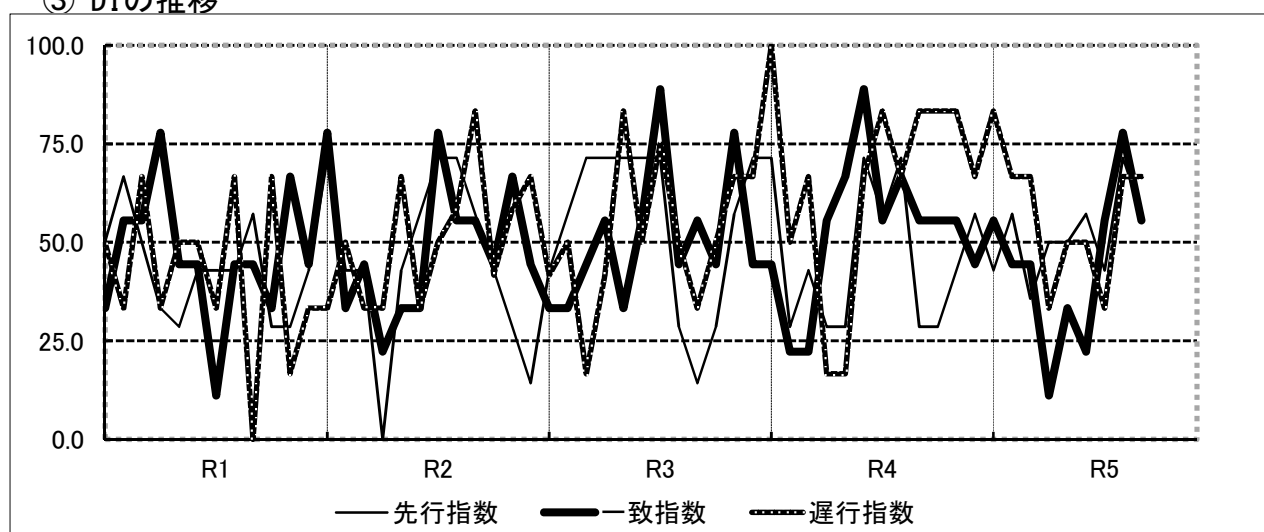
(注) 各指数とも50%が景気の拡張期と後退期との境目とされる (-景気動向指数利用の手引き-参照)

② DIの推移

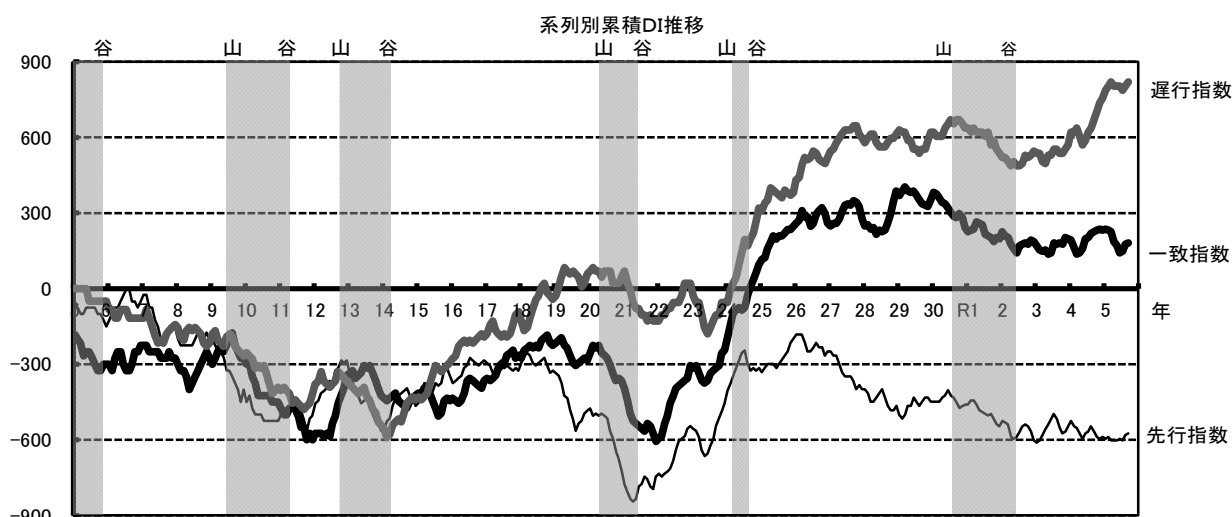
区 分	令和4年			令和5年								
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
先行指数 (D.I)	28.6	42.9	57.1	42.9	57.1	35.7	50.0	50.0	57.1	42.9	71.4	57.1
一致指数 (D.I)	55.6	55.6	44.4	55.6	44.4	44.4	11.1	33.3	22.2	55.6	77.8	55.6
遅行指数 (D.I)	83.3	83.3	66.7	83.3	66.7	66.7	33.3	50.0	50.0	33.3	66.7	66.7

注)DIは、先行(7指標)、一致(9指標)、遅行(7指標)に属する各経済指標について、3ヵ月前と比較して改善している指標の割合を指数としている。

③ DIの推移



(参考) 累積DIの推移 (平成5年以降)



注1) 累積指数は、基準月(平成5年1月)の値を0として各月のDIの値を次式により累積したものである。

$$\text{累積DI}(t) = \text{累積DI}(t-1) + (\text{DI}(t) - 50)$$

注2) DI及び累積DIは景気の方向性のみを表すものであり、その水準や振幅の大きさは景気動向と無関係である。

注3) グラフでは各指数の動きを見やすくするため、一致指数に-200を加算してある。

注4) 影の部分は国における景気後退期を示す。

-景気動向指数利用の手引き-

(1) 景気動向指数の概要

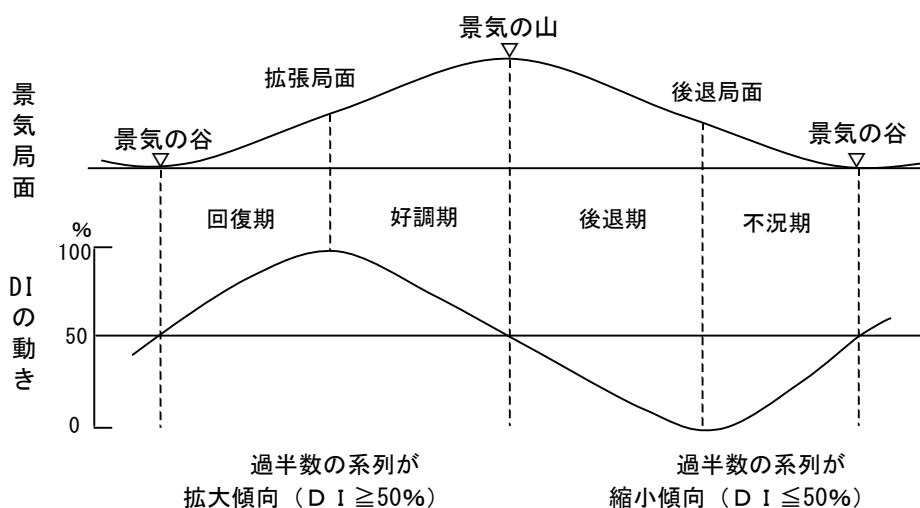
- 景気動向指数は、景気の勢いや方向性を知るために、景気の動きを敏感に反映する経済指標を組み合わせて作成された総合的な経済指標である。景気の勢いを示すC I（コンポジット・インデックス）と、景気の方角性を示すD I（ディフュージョン・インデックス）の2種類の指数があり、両者の動きを総合して景気の現状把握や将来予測等を行う。
- C I、D Iはともに、景気に先行して動く先行指数、ほぼ一致して動く一致指数、遅れて動く遅行指数の3種類の指数を作成する。一致指数は景気の現状把握に利用する。先行指数は景気の動きを予測するために利用する。遅行指数は景気の転換点や局面の確認に利用する。

(2) C I（コンポジット・インデックス Composite Index）の概要

- C Iは複数の経済指標の前月と比べた変化量を合成したものである。例えば、いわき市のC Iでは、大型小売店等販売額等9つの経済指標の変化量を合成して一致指数を作成している（詳細な計算方法については、内閣府経済社会総合研究所のホームページ http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/menu_di.htmlを参照）。
- C Iの変化の大きさは景気のテンポ（勢い）を示す。景気の拡大期にはC Iが上昇傾向を示し、後退期には下降傾向を示す。ただし、C Iは上昇・下降を繰り返しながら変化するため、景気局面の判断はD Iを含めた総合的な指標によって判断する。

(3) D I（ディフュージョン・インデックス Diffusion Index）の概要

- D Iは、複数の経済指標の変化方向を合成したものである。採用指標の各月の値を3ヵ月前の値と比較して、改善した指標の割合がD Iとなる。例えば、いわき市の一致指数では9つの指標を採用するため、そのうち3つが改善したならば $3 \div 9 = 0.333$ (DI=33.3%) と計算する。
- 一般に、50%を上回っているときに景気の拡張局面、50%を下回っているときに後退局面、50%を上から下に切るときが景気の山、50%を下から上に切るときが景気の谷とされる。



(4) 景気基準日付

景気の高・谷（拡張局面と後退局面との転換点）を景気基準日付と呼ぶ。この景気基準日付は、D Iの動きのほか、他の主要経済指標の動きなども総合的に勘案して設定されるが、国では以下のように定めている。

景気基準日付（全国）

区分	谷	山	谷	区分	谷	山	谷
第1循環		S26. 6.	S26. 10.	第9循環	S52. 10.	S55. 2.	S58. 2.
第2循環	S26. 10.	29. 1.	29. 11.	第10循環	58. 2.	60. 6.	61. 11.
第3循環	29. 11.	32. 6.	33. 6.	第11循環	61. 11.	H 3. 2.	H 5. 10.
第4循環	33. 6.	36. 12.	37. 10.	第12循環	H 5. 10.	9. 5.	11. 1.
第5循環	37. 10.	39. 10.	40. 10.	第13循環	11. 1.	12. 11.	14. 1.
第6循環	40. 10.	45. 7.	46. 12.	第14循環	14. 1.	20. 2.	21. 3.
第7循環	46. 12.	48. 11.	50. 3.	第15循環	21. 3.	24. 3.	24. 11.
第8循環	50. 3.	52. 1.	52. 10.	第16循環	24. 11.	30. 10.	R2. 5.

(5) いわき市の景気動向指数採用系列の概要

項目		内容		原データの出典
先行系列	1 自動車新規登録台数	季	代表的な耐久消費財である自動車の販売動向を示し、いわき市における消費動向が反映されている。	いわき自動車検査登録事務所、全国軽自動車協会連合会いわき支所
	2 新設住宅着工戸数	季	住宅への投資動向を表す。住宅投資の増加は建設資材需要や家具の買替え需要などの波及効果をもたらす。	福島県土木部
	3 建築確認申請受付件数	季	住宅を含む建設投資動向が反映される。家計の動向のみならず、企業等の景気見通しに影響される。	いわき市建築指導課
	4 鉱工業在庫率指数(逆)	季	鉱工業在庫指数/出荷指数により算出。景気回復局面に低下、悪化局面に上昇する。	福島県企画調整部
	5 中小企業DI(全業種)	原	企業経営者の景況感を指標化したもの。増加(好転)企業割合-減少(悪化)企業割合により算出。企業の生産・投資活動との関連性が高い。0が横ばい(または景気の転換点)の水準。	福島県産業振興センター
	6 新規求人倍率	季	月間新規求人数/月間新規求職者数で算出。労働需給の変化が敏感に反映され、特に景気の山の判定に活用される。	ハローワーク平
	7 いわき市景気ウォッチャー先行き判断DI	原	市内の様々な職種の景気ウォッチャーの方々の生活実感を指数化したもの。50が横ばい(もしくは景気の転換点)の水準。	いわき市産業チャレンジ課
一致系列	1 公共工事受注額	移	いわき市内における公共工事の受注高。	いわき市建設業協同組合、(社)福島県建設業協会いわき支部
	2 観光施設利用者指数	季	いわき市内の主要観光施設の利用者数。平成25年第I四半期を100として指数化したもの。	いわき市産業チャレンジ課
	3 大型小売店等販売額	前	いわき市内の主要な大型小売店舗の販売額であり、本調査のため、いわき市独自で調査したデータ。	いわき市産業チャレンジ課
	4 鉱工業生産指数	季	鉱工業部門の生産数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業チャレンジ課(原データ:福島県)
	5 鉱工業出荷指数	季	鉱工業部門の出荷数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業チャレンジ課(原データ:福島県)
	6 小名浜港輸入通関実績	季	小名浜港を通過して輸入された貨物の金額。工業用原材料が多くを占める。	横浜税関
	7 いわき市中小企業融資制度融資残高	前	いわき市の中小企業向け低利融資制度に係る融資残高であり、市内中小企業の資金需要の増減が反映される。	いわき市産業チャレンジ課
	8 有効求人倍率	季	月間有効求人数/月間有効求職者数で算出され、労働需給が反映される。	ハローワーク平
	9 高速道路出入交通量	季	いわき市内インターにおける車両の出入交通量。	株式会社ネクスコ・トル東北いわき事業部
遅行系列	1 入湯税調定人員	季	いわき湯本をはじめとする市内の温泉利用者数。観光客数の動向が反映されている。	いわき市市民税課
	2 いわき市中央卸売市場取扱高	季	いわき市中央卸売市場の青果部、水産部における取扱高。飲食需要が反映され、その増減に景気の動きが反映される。	いわき市中央卸売市場
	3 鉱工業在庫指数	季	鉱工業部門の在庫数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業チャレンジ課(原データ:福島県)
	4 いわき市中小企業融資制度融資利率	前	いわき市の中小企業向け低利融資制度に係る融資利率であり、市内中小企業の資金需要の増減が反映される。	いわき市産業チャレンジ課
	5 法人市民税調定額	季	企業の所得変動を税収面から捉えた指標であり、過去1年間の経済活動の状況が反映される。	いわき市市民税課
	6 雇用保険受給者実人員(逆)	季	失業給付を受けている有効失業者数であり、景気に遅行し逆サイクルで動く。	ハローワーク平

注) 季：X-13ARIMA-SEATSによる季節調整値、前：原数値の前年同月比、原：(四半期)原数値、移：12ヵ月移動平均
逆：景気の上昇期に減少(低下)し、下降期に増加(上昇)するもの。

【参考】国・県の動き

1 経済・景気の動向

(1) 国の動向	<p>(我が国経済の基調判断)</p> <p>景気は、このところ一部に足踏みもみられるが、緩やかに回復している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人消費は、持ち直している。 ・設備投資は、持ち直しに足踏みがみられる。 ・輸出は、このところ持ち直しの動きがみられる。 ・生産は、持ち直しの兆しがみられる。 ・企業収益は、総じてみれば改善している。企業の業況判断は、総じてみれば緩やかに改善している。 ・雇用情勢は、改善の動きがみられる。 ・消費者物価は、上昇している。 <p>先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。</p> <p>(内閣府「月例経済報告」令和5年11月公表分)</p>
(2) 県の動向	<p>県内の景気は、先行きに不透明感がみられるものの、緩やかに持ち直している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人消費……持ち直している。 ・建設需要……弱い動きがみられる。 ・生産活動……一進一退の状況が続いている。 ・雇用・労働……改善が続くものの、一部に弱い動きがみられる。 ・物 価……企業物価指数、消費者物価指数はともに前年を上回っている。 ・企業・金融……企業倒産件数は前年と同数になったが、負債総額は前年を下回った。預金残高は前年を下回り、貸出残高は前年を上回った。 <p>(福島県「最近の県経済動向」令和5年11月公表分)</p>

2 景気動向指数(CI)

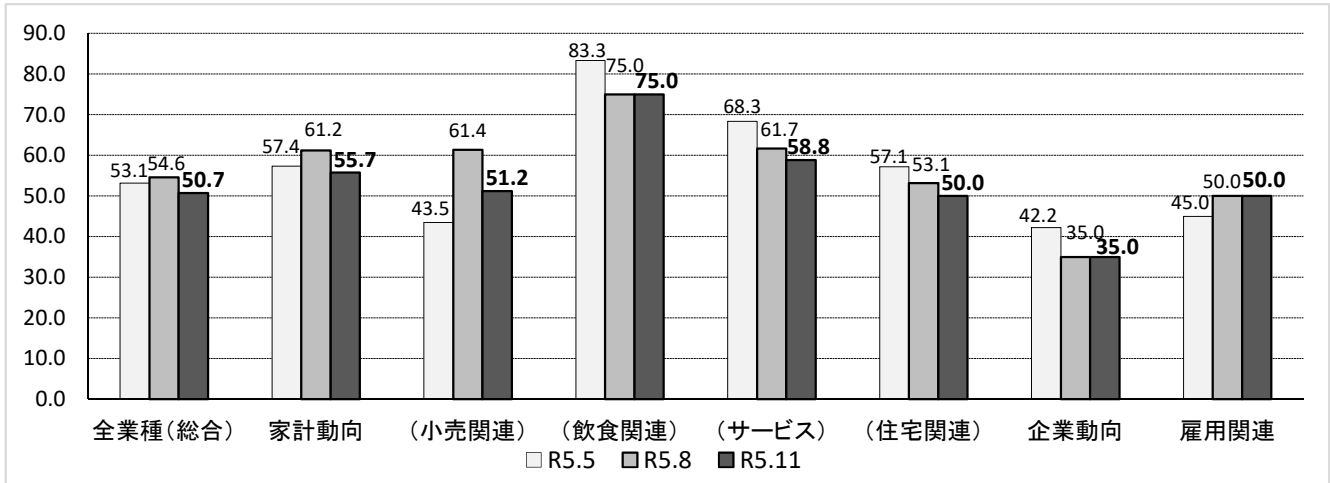
(1) 国の動向	<p>9月のCI(速報値・令和 2(2020)年=100)は、先行指数:108.7、一致指数:114.7、遅行指数:105.7となった。</p> <p>先行指数は、前月と比較して0.5ポイント下降し、2ヵ月ぶりの下降となった。3ヵ月後方移動平均は0.03ポイント下降し、6ヵ月ぶりの下降となった。7ヵ月後方移動平均は0.01ポイント下降し、2ヵ月ぶりの下降となった。一致指数は、前月と比較して0.1ポイント上昇し、2ヵ月連続の上昇となった。3ヵ月後方移動平均は0.30ポイント下降し、3ヵ月連続の下降となった。7ヵ月後方移動平均は0.07ポイント上昇し、5ヵ月連続の上昇となった。遅行指数は、前月と比較して0.2ポイント下降し、2ヵ月ぶりの下降となった。3ヵ月後方移動平均は0.26ポイント下降し、2ヵ月連続の下降となった。7ヵ月後方移動平均は0.13ポイント上昇し、19ヵ月連続の上昇となった。</p> <p>(内閣府経済社会総合研究所「景気動向指数」令和5年11月公表分)</p>
(2) 県の動向	<p>1 概 括</p> <p>9月の景気動向指数(CI:コンポジット・インデックス、H27年=100)は、先行指数111.1ポイント、一致指数78.0ポイント、遅行指数108.1ポイントとなった。</p> <p>先行指数は、前月(111.0ポイント)を0.1ポイント上回り、2ヵ月連続の上昇となった。</p> <p>一致指数は、前月(77.7ポイント)を0.3ポイント上回り、2ヵ月連続の上昇となった。</p> <p>遅行指数は、前月(103.4ポイント)を4.7ポイント上回り、2ヵ月振りの上昇となった。</p> <p>2 一致指数の動向</p> <p>寄与度がプラスの系列</p> <p>所定外労働時間指数(全産業)、建築着工床面積(鉱工業)、有効求人倍率、生産財出荷指数</p> <p>寄与度がマイナスの系列</p> <p>最終需要財出荷指数、鉱工業生産指数、百貨店・スーパー販売額(既存店)、雇用保険受給者実人員</p> <p>(福島県「福島県景気動向指数」令和5年11月公表分)</p>

Ⅱ いわき市景気ウォッチャー調査：令和5年11月時点

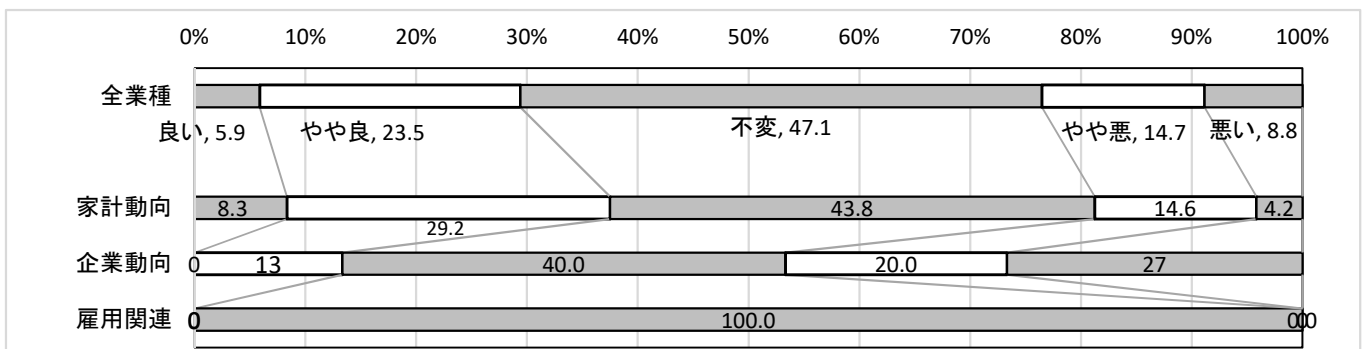
1 景気の現状について

(1) 現状判断DI

- 全業種（総合）の現状判断DIは50.7と、前回より3.8ポイント低下した。内訳では、家計動向が低下し、雇用関連及び企業動向が横ばいとなった。
- 主要業種別では、家計動向が55.7と前回より5.5ポイント低下した。家計の内訳では、飲食が横ばい、小売、サービス、住宅関連が低下した。企業動向は35.0、雇用関連は50.0でともに横ばいとなった。



- 全業種（総合）の回答内容をみると、3ヵ月前と比べて「良くなっている」は5.9%であり、「やや良くなっている」が23.5%、「変わらない」が47.1%、「やや悪くなっている」が14.7%、「悪くなっている」が8.8%となった。



(2) 現状判断の理由

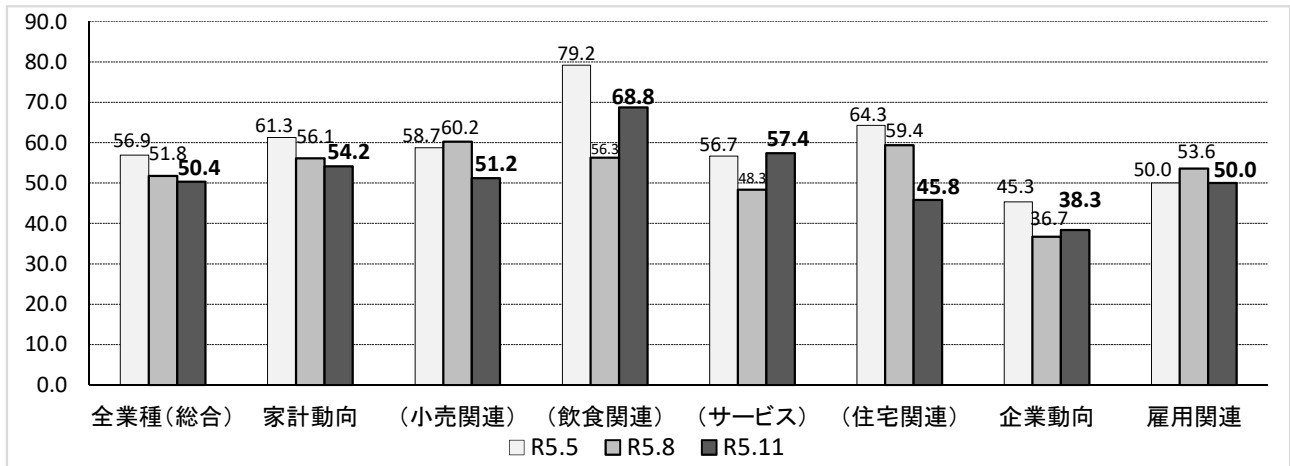
現状判断の理由として、家計動向では「来客者数の動き」、企業動向では「取引先の様子」、雇用関連では「求職者数の動き」「周辺企業の動き」などが多く挙げられた。

項目(家計)	良い	不変	悪い	合計	項目(企業)	良い	不変	悪い	合計	項目(雇用)	良い	不変	悪い	合計
1. 来客者数の動き	11	7	6	24	1. 受注量や販売量	1	2	1	4	1. 求人数の動き	0	0	0	0
2. 販売量の動き	5	7	1	13	2. 受注価格や販売価格	0	0	2	2	2. 求職者数の動き	0	2	0	2
3. 単価の動き	1	2	0	3	3. 取引先の様子	1	4	3	8	3. 採用者の動き	0	0	0	0
4. お客様の様子	1	2	2	5	4. 競争相手の様子	0	0	0	0	4. 周辺企業の動き	0	2	0	2
5. 競争相手の様子	0	1	0	1	5. その他	0	0	1	1	5. その他	0	1	0	1
6. その他	0	2	0	2	合計	2	6	7	15	合計	0	5	0	5
合計	18	21	9	48										

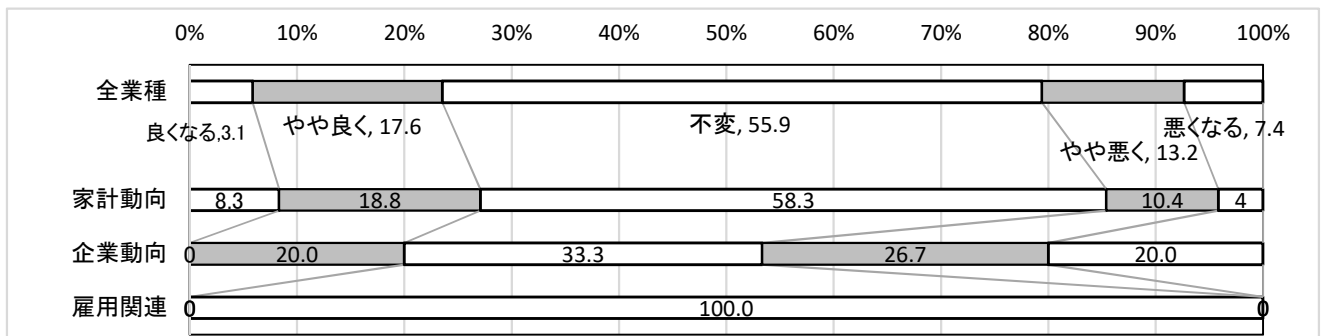
2 景気の先行きについて

(1) 先行き判断DI

- 全業種（総合）の先行き判断DIは50.4と、前回より1.4ポイント低下した。内訳では、企業動向が上昇し、家計動向、雇用関連が低下した。
- 主要業種別では、家計動向が54.2と前回より2.0ポイント低下した。家計の内訳では飲食、サービスが上昇し、小売、住宅関連が低下した。企業動向は38.3と1.7ポイント上昇し、雇用関連は50.0と3.6ポイント低下した。



- 全業種（総合）の回答内容をみると、2~3ヵ月先には「良くなる」は3.1%であり、「やや良くなる」が17.6%、「変わらない」が55.9%、「やや悪くなっている」が13.2%、「悪くなっている」が7.4%となった。



(2) 先行き判断の理由

先行き判断の理由として、家計動向では「来客者数の動き」、企業動向では「取引先の様子」、雇用関連では「周辺企業の動き」などが多く挙げられた。

項目(家計)	良い	不変	悪い	合計	項目(企業)	良い	不変	悪い	合計	項目(雇用)	良い	不変	悪い	合計
1. 来客者数の動き	6	10	4	20	1. 受注量や販売量	1	1	0	2	1. 求人数の動き	0	1	0	1
2. 販売量の動き	4	5	0	9	2. 受注価格や販売価格	0	1	2	3	2. 求職者数の動き	0	1	0	1
3. 単価の動き	0	3	0	3	3. 取引先の様子	2	3	3	8	3. 採用者の動き	0	0	0	0
4. お客様の様子	3	7	2	12	4. 競争相手の様子	0	0	1	1	4. 周辺企業の動き	0	2	0	2
5. 競争相手の様子	0	1	0	1	5. その他	0	0	1	1	5. その他	0	1	0	1
6. その他	0	2	1	3										
合計	13	28	7	48	合計	3	5	7	15	合計	0	5	0	5

3 市内景気に関する自由意見

(アンケート自由意見欄にご記入頂いた内容。
記入された方が特定される情報等は割愛させていただきました。
また、同種のご意見はまとめさせていただきました。)

(経営の動向等)

- 来客数が増えても人手不足で困っている。
- 経営相談に来訪する事業者が、「追加融資を断られた」「運転資金がない」といった内容が多くなっている。公的施策（雇用調整助成金等）がなくなり、資金面で今後悪化すると思われる。
- 固定の客を持たないので、その時々での変化が大きい。宿泊部門は少し改善されているがカフェ部門は地元客に依存のため、利用数、単価が下がっている。全体の流れで見ると、景気が良いとは到底思えない。
- 節句人形の小売は、これから繁忙期となる。
- 全体のパイはそう大きくなっていないので、各個社間の濃淡がより鮮明になってきている。
- 全体的には、あまり良くないが、業種により、又、事業拡大により良いところもある。
- 人口が減っている。アパートの空室が多くなっている。
- 特に大きな動きが無い。

(コロナ禍など)

- コロナ禍からの回復は進展していると思われるが、一方で今後インフレが加速、長期化することも予想される為、景気が良くなるかどうかは正直わからない。但し、業種（観光など）によっては業績が伸びていくと思う。
- インフルエンザ・コロナ等々のダブル感染や、コロナよりもインフルエンザの数が増えているとか？もう何がどうなの？とよくわからない上に、薬がたりないとか？もはや経済をまわすつもりはないのか？と思えるほどわからない状況である。
- コロナ禍、猛暑があり、人の流れが変わってしまった。客足は以前の半分以下になっている状況である。
- 新型コロナウイルスがようやく落ち着いてきて、様々なイベントやお出かけの機会も増えてきている中、衣食の消費活動も徐々にではあるが多く感じられる。今後の景気向上に期待したい。

(物価)

- 価格値上げによる買い控えがあると思う。
- 燃料、物価の高騰がモロに響いている。
- 台風13号浸水被害で景気低迷+物価高である。

- いわき市景気ウォッチャー調査の概要 -

(1) 調査の目的

市内の家計動向関連、企業動向関連、雇用関連の事業所等で働く市民の方々を対象にアンケートを実施することにより、いわきの街角景気及びその変化を迅速かつ的確に把握する。

(2) 調査客体及び有効回答率

家計動向関連76人、企業動向関連23人、雇用関連8人の合計107人を調査客体とする。今回（令和5年8月）の調査の回答数は68人（有効回答率63.6%）である。

分野	調査客体	構成比	有効回答数	業種
家計動向関連	76人	71%	48人	
小売関連	34人	32%	21人	小売店、スーパー、コンビニ等
飲食関連	8人	7%	4人	居酒屋、ファーストフード等
サービス関連	25人	23%	17人	タクシー、ホテル、観光施設等
住宅関連	9人	8%	6人	工務店、不動産販売・仲介・賃貸等
企業動向関連	23人	21%	15人	広告、ビル管理、警備、会計等
雇用関連	8人	7%	5人	人材派遣、職業紹介等
合計	107人	100%	68人	

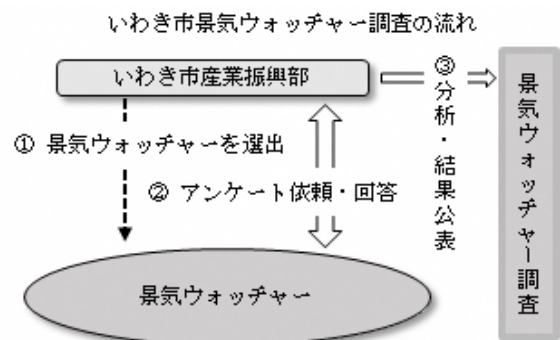
(3) 調査客体

次の事項について、毎年2月、5月、8月、11月に調査を実施する。

- 1) 景気の現状に対する判断（方向性）とその理由
- 2) 景気の先行きに対する判断（方向性）とその理由

(4) 調査方法

いわき市産業チャレンジ課において景気ウォッチャーを任命し、調査を実施する。調査票の配付・回収・結果の分析は産業チャレンジ課と外部調査機関（株式会社システムプランニング）が協力して行う。調査結果は、産業チャレンジ課が原則として調査の翌月に公表する。



(5) D I の算出方法と見方

景気の現状や先行きに対する判断を次の5段階に区分し、各回答区分の構成比（%）に対して、対応する点数を乗じることによりD I を算出する。

D I は50が景気判断の分かれ目であり、50を上回れば景気の拡大局面、50を下回れば後退局面と判断する。

回答区分	現状判断 (3カ月前と比較)	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
	先行き判断 (3カ月後の見通し)	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
点数		1	0.75	0.5	0.25	0

(6) 景気ウォッチャー調査票

調査票は、原則としてFAXまたはメールにより配付・収集を行う。

いわき市景気ウォッチャー調査票（令和 年度第 回）	
	令和 年 月 日
ご回答者	
ご所属・お名前 _____ 様	
あなたの身の回りの景気（仕事の状況や、仕事を通じて接するお客様の様子）についてご回答ください。	
該当項目を1つだけ選択し、番号に○をしてください。例：① 良くなっている。	
【質問1】 今月の景気は3ヵ月前と比べて、良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか？ 1つお答えください。	1 良くなっている 2 やや良くなっている 3 変わらない 4 やや悪くなっている 5 悪くなっている
【質問2】 質問1のご回答理由では、どのような点に最も着目しましたか？ 1つお答えください。	1 来客数の動き 2 販売量の動き 3 単価の動き 4 お客様の様子 5 競争相手の様子 6 それ以外
【質問3】 あなたの仕事の状況やお客様の様子からみて、2～3ヵ月先は、今月より良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか？ 1つお答えください。	1 良くなる 2 やや良くなる 3 変わらない 4 やや悪くなる 5 悪くなる
【質問4】 質問3のご回答理由では、どのような点に最も着目しましたか？ 1つお答えください。	1 来客数の動き 2 販売量の動き 3 単価の動き 4 お客様の様子 5 競争相手の様子 6 それ以外
【自由回答（市内景気動向に関して）】	

※質問2、4について、上記は家計動向関係向けの選択肢の内容。

企業動向関係、雇用関係向けの選択肢の内容は次の通り。

企業動向関係

- 1 受注量や販売量の動き
- 2 受注価格や販売価格の動き
- 3 取引先の様子
- 4 競争相手の様子
- 5 それ以外

雇用関係

- 1 求人数の動き
- 2 求職者数の動き
- 3 採用者の動き
- 4 周辺企業の動き
- 5 それ以外

編集・発行 いわき市 産業振興部 産業チャレンジ課
〒970-8686 いわき市平字梅本 21 番地
電 話 0 2 4 6 - 2 2 - 1 1 2 6 (直通)
e-mail : sangyochallenge@city.iwaki.lg.jp
